

100歳おめでとうございます

12月に100歳を迎えた皆さんに、市長からお祝い状とお祝い金が贈られました。



大山 シナエさん  
(大正10年12月4日生)



岩崎 ユクエさん  
(大正10年12月5日生)



佐々木 トメさん  
(大正10年12月10日生)



認知症への理解と地域のつながり実感  
ささえ愛ネットワーク模擬訓練2021

12月5日、須屋市民センターで、ささえ愛ネットワーク模擬訓練2021を開催しました。

これは市と社会福祉協議会が、認知症の理解と見守りに必要な地域のつながりを、実感してもらうことを目的としたものです。当日は、約90人の地域住民が、徘徊者に見立てた人への声かけ訓練に参加し「とてもよい経験ができた。この輪が広がるといいなと思う」との声がありました。



徘徊役の人に声かけをする参加者

弘生ウソ替祭開催  
弘生菅原神社に1年ぶりの賑わい

11月29日、弘生菅原神社の例大祭で神事の“ウソ替”を行ないました。木箱から取り出された番号が読み上げられる度、事前に配布された番号札を持った氏子衆や区民から落胆や喜びの声が上がりました。

弘生ウソ替保存会会長の緒方良雄さん(弘生)は、「今年は祭を開催できて良かった。コロナをなかったことにはできないが、幸福に変えて良い1年を過ごせることを願いたい」と想いを語りました。



挨拶する緒方さん(中央)“ウソ替”は、良くない出来事を“ウソ”とし“福”に取り替える意味合いを持つ

移動販売～おでかけ応援プロジェクト～  
1周年記念イベントを開催しました

11月26日に、市社会福祉協議会主催による移動販売～おでかけ応援プロジェクト～の1周年記念イベントを実施しました。毎月第2、第4金曜日に市内4カ所で実施している移動販売の内容に加え、目玉商品の販売や、来場者に記念品の配布を行ないました。また、ヴィーブルくんから子どもたちに風船のプレゼントがあり、一緒に記念撮影をするなど、多くの来場者で賑わいました。



須屋市民センターでの移動販売の様子

令和2年度熊本県近代文化功労者 原田茂氏  
交流促進事業 『結ぶ』をテーマにスカート製作ワークショップ開催しました

12月5日・12日の2日間、三つの木の家で『結ぶ』をテーマに、文化服装学院(東京都)協力のもと、スカート製作のワークショップを開催しました。冒頭では、現学院長である相原幸子さんのメッセージと、子どもたちのもの作りに関する質問について学院長自ら回答したビデオレターを視聴しました。その後、参加した24人の子どもたちは、6つのグループに分かれ、3人の講師による指導のもと、針の使い方に気をつけながらミシンやアイロンなどを使って、スカート

製作に取り組みました。完成後は、実際にスカートを履いてグループごとに発表し「もの作りが大変だということを学んだ。ものを買うときは作り手に感謝して買うようにしたい」などと感想を述べました。子どもたちが製作したスカートは、ヴィーブル3階の歴史資料館で現在開催している『～洋装への扉を開いた合志の女性～「原田茂」特別展』にて展示予定です。子どもたちが思いを込めて製作した作品と、原田茂氏の作品を楽しみにぜひ資料館へお越しください。



多くの人との繋がりを大切に



ワークショップの様子

万全の備えを  
消防団機械器具点検を実施しました

12月5日、市役所前の合志地区防災広場にて、消防団機械器具点検を一齐に実施しました。これは、いつ発生するか分からない災害に備えるため、消防団の機械器具を点検するものです。

西消防署の協力のもと、団員はホースや小型ポンプといった消防資機材だけでなく、近年増加傾向にある自然災害にも対応するため、車両やチェーンソーなどの点検も行ないました。



分団ごとに入念な点検を行ないました

活気復活 選手と子どもたちが交流  
再春館製薬所バドミントン教室

11月28日、市総合体育館で、再春館製薬所バドミントン部による菊池郡市バドミントン教室を開催しました。これは再春館製薬所・菊池郡市バドミントン協会・クラブこうしが企画し、菊池郡市の小中学生60人を対象に開催したものです。子どもたちは憧れの選手との交流を楽しみながら練習に取り組み「もっとたくさん練習してうまくなりたい」「また一緒にバドミントンをしたい」と話しました。



菊池郡市小中学生60人と再春館製薬所バドミントン部の皆さん